

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

55号

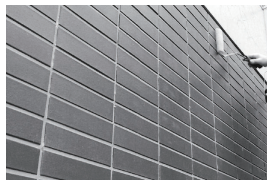
大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX 工法

スカイコートW

＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

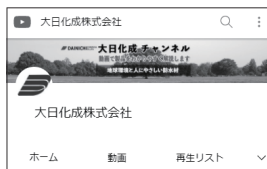
スカイコートWは、透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜を為、タイル仕上の意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。



透明な塗膜でタイル仕上の
意匠性はそのまま!!

主な特長

1. オール水系
2. 超高性能被膜
3. 優れた施工性
4. 防カビ・防藻機能



詳しくは
YouTube
大日化成
チャンネルで



大日化成チャンネル

金属屋根緑化の広がり

近年市場の拡大が見られる屋上緑化や壁面緑化など建築緑化の中で特に成長が著しい金属屋根への緑化について大日化成の緑化ユニットシステム「VUS500」を例にご紹介致します。

国土交通省による全国の建設会社、造園会社、緑化関連資材メーカーなどを対象にした「令和元年 全国屋上・壁面緑化施工実績調査」では令和元年に施工された屋上緑化は約19,7haであり、近年増加傾向である「工場・倉庫・車庫」の割合は24.9%と「住宅」「共同住宅」や「商業施設」を押さえ最も高い割合となっておりあります。

その中でも金属屋根への緑化は工場や倉庫、大型店舗などによく見られ、工場立地法の改正や各地方自治体の緑化条例により計画されるケースが多く、コスト面

や設置場所の確保を考えたと際に最適な緑化であると言えます。

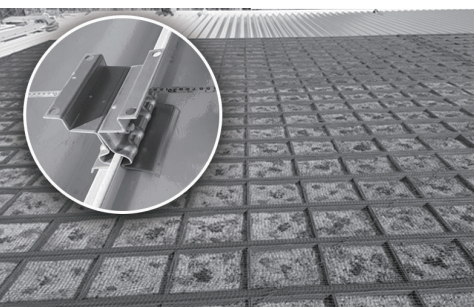
屋根材への直射日光を防ぎ、室内温度上昇を抑制することでヒートアイランド現象の軽減、建物内部への遮熱効果や遮音効果、景観の向上など様々な効果が挙げられますが気を付けなければならぬことも多く、金属屋根の耐荷重や風圧の算定、部材の固定方法と強度、土壌の流出など十分な検討と現地調査を行い既存の屋根の現状を把握することが必要となります。

セダム類を混植した緑化ユニットシステム「VUS500」はハゼ式やポルト式の折板屋根などあらゆる金属屋根に施工可能であり、専用の固定金具をもちいてレールを浮かして固定しているため屋根を傷つけません。また、緑化トレーは金属のレー

ルで上下から押さえて固定する構造により耐風圧の確保ができ、ポルトとビスで固定しているため施工もスムーズに行えます。近年の異常気象の際にもユニット側面がついた排水穴から余分な水が流れるため大雨の際のオーバーフローを防ぎ、防風ネットを取り付けることによりユニットの吹き上がりや培土の飛散を防ぎます。

最近も某配送センターの金属屋根で採用いただきましたが、上記の特長に加え、事前に現場打合せを何度か行うことで固定方法や施工の流れをご理解いただくことが一番の理由であります。

本現場では勾配のあるハゼ式の折板屋根のため、滑落防止落下物防止のために安全対策をしつかりと行い、部材の搬入や荷揚等で柔軟な対応をさせていただいた御施主様、ゼネコン様、他、関係者の皆様



ご協力のおかげで無事に施工することが出来ました。

金属屋根に限らず陸屋根の屋上緑化や壁面緑化など幅広く緑化事業を展開しておりますのでお困りの際はぜひ一度弊社までお問い合わせくださいませ。



3つ目の特長は、ポリマーセメント系塗膜防水材のビッグサンは、特定化学物質や有機溶剤を一切含まない水性材料である為強い臭気も無く、安全な材料である点です。ビッグサンRX工法で使用する専用接着剤のRXボンドも水系材料となっており、

JAS8メンブレン防水層の性能評価試験方法に基づく耐疲労性試験の最終工程である工程3まで耐え、「異常を認めない」A4区分に相当する性能である事も確認しており、非常に耐久性に優れた工法となっております。試験の結果はカタログにも簡単にですが載せておりますので是非そちらでも確認頂けたらと思います。

施工はまず既存ゴムシート防水層の全撤去を行い、クラック処理、全面下地調整を行ったうえで、ビッグサンRX工法を施工し、臭気等の問題もなく無事完了致しました。

今後、今回の様に既存シート防水等の撤去後の改修工事、下地含水量が多いシンダー押さえの改修工事には、ぜひビッグサンRX工法の採用をお願いします。

ビッグサンRX工法は、新工法として2004年に上市してから約17年が経っており、騒音、臭気等を出さない通気緩衝工法として集合住宅や病院施設等の屋上防水改修現場を中心に、多くの現場で採用されています。

従来の密着工法では下地から想定外の水蒸気が発生した場合に、防水塗膜に膨れ等の問題が発生する場合がありますが、ビッグサンRX工法であれば水蒸気が発生しても特殊な3層構造の

2つ目の特長は、ひび割れ追従性にも優れている点です。ビッグサンRX工法は、通気緩衝シートのビッグサンRXシートとジョイント補強テープのビッグサンRXテープを組み合わせた事でより下地の動きを緩衝し、防水層への影響を低減するため従来の密着工法に比べて、ひび割れ追従性能を大幅に改善する事が出来ました。

性にも優れている点です。ビッグサンRX工法は、通気緩衝シートのビッグサンRXシートとジョイント補強テープのビッグサンRXテープを組み合わせた事でより下地の動きを緩衝し、防水層への影響を低減するため従来の密着工法に比べて、ひび割れ追従性能を大幅に改善する事が出来ました。

使用材料はすべて水系の安全な材料です。居住者がいる改修工事で問題となる溶剤臭もなく、施工業者様、居住者様、環境、すべてに優しい材料になっております。

直近で採用頂いた現場は、戸建て住宅の屋上既存ゴムシート防水の改修工事現場でした。

既存ゴムシート防水は、経年劣化により剥かれ、膨れが発生しており下地のコンクリートが露出してしまっている部分もある状況でした。この状況から下地にはかなりの水分が含まれている事が予想され、密着工法では、下地からの蒸気により防水層に膨れが発生する可能性が高い為、下地の蒸気を逃がし膨れを抑制でき、尚且つ居住者のいる状況での施工になる事を考慮し、溶剤臭の発生しない通気緩衝工法ビッグサンRX工法を採用される事となりました。

下地調整材シリーズ 他工法でも活用いただけます

スカイレジンWE

スカイレジン WE は水系エポキシ樹脂をベースとするローラー施工タイプのエポキシポリマーセメント系下地調整材

EPC-T

2材型・水系エポキシ樹脂ベースの薄付けタイプ素地調整材 下団1種合格品
エポフィラー
水系エポキシモルタルでありながら画期的な2材で使いやすい

プライマーE

各種溶剤系及び無溶剤系、水系材料の下塗りプライマーとして使用が可能

BIGSUN ラピタルエース

＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル



速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!



日本の緑化事情 / 屋上緑化で使用する土壌について

緑化にはなくてはならないものとして、土壌があります。人工的な緑化です。天然の土壌と同じと言っことはできません。天然との最大の違いは「深さ」と「広さ」です。屋上緑化の場合には既存の建造物の設置する為にスペースの制約があります。天然のように毛細管現象を利用するような広さでも深さもありませんので、給排水を鑑みた土壌が必要になります。

建造物の上に敷設されることから荷重も与えなければなりません。天然の土を持ってくることは出来ません。特に屋上緑化では、保水性・通気性・透水性を考慮した天然土壌より軽いものが求められます。

また、PH値も考慮しなければならぬことから、有機・無機の長所をあつめた人工土が主となっています。大日化成の屋上緑化資材・VUSシリーズで

は、水を均一に拡散する軽量培土に人工ゼオライトを配合しました。

人工ゼオライトとは、アロフエンの表面を陽イオン活性化し、高陽イオン交換容量を特徴とし、植物の生育に必要な肥料成分や微量元素を吸着・放出することで性能発揮する優れた性質があり、土壌に比べるとバランスを維持する機能により、土壌のPH、保肥性を向上させ緑化植物の生育安定に寄与します。

VUS500に配合した、人工ゼオライトは天然ゼオライトの20倍（社内試験値）の高い効果により、セダム植物の生育安定性を向上させます。

このように、ある意味草木が繁茂するに過酷な条件で育る屋上緑化でも、生育性安定度を向上させる工夫が凝らされています。



大日製品現場レポート

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

府営住宅受水槽の改修工事でアクアエポシステムを採用頂きました！

今年の1月、某府営住宅の受水槽改修工事で当社エポシステムを採用頂きました。工事現場を受注した施工業者様は当初、他社製品での施工を考えていたのですが、設計士が「アクアエポシステム」を薦めてくれたので採用しました。

この設計事務所は、約1年間の設計業務を経て、府営住宅の受水槽改修工事の設計業務を受託しました。設計士は、アクアエポシステムの採用を勧めてくれたので採用しました。

アクアエポシステムは、水が溶けても水面は上昇するのではなく、グラスに氷と並々の水を入れ、氷が溶けてもグラスの水はあふれませんが、北極の水が大陸部に乗っかっており、それが溶けると上昇するでしょうが、そうではありません。

ドキュメンタリーは肯定派も交えてはいますが基本的に肯定派の目線で制作されています。否定派の多くの政治家は石油業界からの支援を受けているようで、化石燃料業界へ優位に働いているとも訴えています。

政治家を動かすにはどうしたら良いのか？オバマ大統領が就任前には「同性婚完全否定」でしたが、世論が同性婚を求める声が大きくなってからは「同性婚は認められるべきだ」と手のひらをひっくり返した事を皮肉っぽく取り入れています。つまり世論（民意）が変われば政治家も動



次に水系材料の長所として、下地や素地調整材が多少の湿潤状態でも調整材が施工できる事が可能な事です。溶剤型の材料の場合、下地が湿潤状態の場合、含水率8%以下まで乾燥させるか湿潤状態でプライマー等の処理が必要になります。アクアエポシステムは水系材料のため、特別な処理は必要ありません。当然日本水道協会のJWWA（日本水道協会）水道用コンクリート水槽内面工法に適合しており、水道施設に適合した基準を定める省令（厚生省令第15号）にも適合しています。安心して飲料水用途にも安心して御使用頂けます。

府営住宅受水槽の改修工事では10年以上前から各現場で採用頂いており、今後は、当社「スカイレ」をより多く採用して頂きます。



●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

Vol.52

映画で学ぶ 環境問題



地球が壊れる前に
原 題 : Before the Flood

監 督 : フィッシャー・ステューヴンス
制 作 : フィッシャー・ステューヴンス
レオナルド・ディカプリオ
出演者 : レオナルド・ディカプリオ
配 給 : ナショナルジオグラフィック
上 映 : 96分
公 開 : 2016年

前回取り上げた「Cowspiracy」から環境問題への関心をさらに高めようと、アカデミー主演男優賞を受賞した「レヴェナント」の蘇えりし者」の撮影の傍ら、プロデュースをおこない、さらに自身も出演したドキュメンタリー映画です。

邦題は「地球が壊れる前に」ですが、原題は「Before the Flood」直訳すると「洪水になる前に」となります。地球が水浸しになる前にというニュアンスなのでしょうが、水浸しの要因は地球温暖化にともない北極圏の氷が溶け水

面上上昇し水没する箇所があるので、それをなんとかしようというのが骨子です。

レオナルド・ディカプリオが国連平和大使として、2年を費やして世界中を飛び回って現状を取材し、見識者や当時のアメリカ大統領バラク・オバマ氏、国務長官、イーロン・マスク、果てはローマ法王へのインタビューを行っています。それぞれの学者などの話の概ね温室効果ガスが地球温暖化の原因になっているという確固

しかし、国務長官やローマ法王へ出演依頼は出来てもやらせを依頼することは不可能だともいいます。そのことから、彼らの言及は仮にに表向きであつても真意を述べていると思われる。

本編中には、温室効果ガス否定派の意見もあり、地球の環境を変えるなど人の力では不可能である。万年単位でみると気温は上がっておらずむしろ氷河期へ向かっている。氷河期や灼熱期も幾度か繰り返している。と単なる地球のサイクルである。というもの。

そもそも極部の氷が溶けても水面は上昇するのでしょうか？グラスに氷と並々の水を入れ、氷が溶けてもグラスの水はあふれませんが、北極の水が大陸部に乗っかっており、それが溶けると上昇するでしょうが、そうではありません。

否定派が何を言っても原因が何であろうとCO2が増え続けていること自身は事実です。海面上昇や氷河が溶け出し始めているという事実を見て見ぬ振りをするわけには生かれません。否定派と肯定派がほぼせり合いを行っていたら手遅れになるかもしれません。民意を変えるには一人一人の関心を高めることが必須です。

環境問題に関心をもち無関心にはならない。これは現在の地球民にとって喫緊の課題ではないでしょうか。それを訴えるドキュメンタリー映画であると思

かざるを得ないと言っ事です。他方で、サステイナビリティの秘密でも取り上げていたCO2以外の温室効果ガスにも目を向けており、牛肉の生育過程で大量のメタンガスが放出されるというもの。これまで毎日のように食べている牛肉を鶏肉や豚肉にするこの積み重ねから、メタンガスの圧倒的削減に寄与するということです。

各人一人一人の生活をほんの少し変更し、それが出来たら周囲へシェアする。そしてさらに大きなコミュニケーションへ。こういう草の根運動をおこなう事で、民意を動かすことができ、政治を変えることが可能だとも訴えています。